

女性のエンパワメント事業「ママになった記念祭」・ 「幸せなお産・子育てのための妊娠前教室」

コース
自主
事業

誕生教育劇団 1276 座

申込内容

■事業の概要

妊娠前・産後の女性とそのパートナーを対象に、母親自身が持つ産む力と育む力を発揮するためのしぐみを伝え、女性の自尊感情を高め、女性が出産と子育てに前向きに取り組めるように支援します。

■目的

母親が産後に自信と幸福を感じられるようにすることが、子育てにとって重要であることをより多くの人に知ってもらい、出産環境の改善を考えるきっかけづくりになることを目的としています。

■交付決定額 59,000 円
(事業予算 118,380 円)



◎活動の様子

平成 27 年 (2015 年) 7 月 1 日 (水) に蛍池公民館の第一集会場で、「ママになった記念祭」が開催されました。出産に関する疑問に助産師さんが答えていく妊婦健診の寸劇が行われたあと、ママのお腹の中にいる赤ちゃんの過ごし方など、赤ちゃんが大切に守られていたことをイラストや人形を使ってわかりやすく伝えます。また、赤ちゃんが自分の力で生まれてこようとする人形劇では、赤ちゃん和妈妈が協力し合いながら出産を迎えることを伝え、頑張った親子を拍手で祝福をしました。

次に、ママたちが参加者全員でつくった産道を通る「産道くぐり」を体験し、出口で待つ赤ちゃんと対面した時の喜びの表情を記念撮影しました。ママを見つけて満面の笑みになる赤ちゃんの表情がとても印象的でした。



4つのグループに分かれて、ママたちの出産過程でのうれしかったことや辛かったことなどの体験談を共有する場では、今は楽しく子育てをしているママからも「妊娠中や出産時に孤独を感じていた」といった意見が出され、皆熱心に耳を傾けていました。

どのプログラムにも妊娠中や出産時の気持ちを自然と思い出せるような工夫が盛り込まれており、様々な不安や悩みを頑張って乗り越えた参加者全員を認め合う場となりました。参加者は「同じ年の

赤ちゃんを育てているお母さんとのつながりを作りたいと思い、参加しました」と話され、お互いの連絡先を交換していました。

最後に、代表の古宇田千恵さんは「妊娠中や出産時の大変な思いを乗り越え、赤ちゃんを大切に育てている皆さんのお話から、ママの産み育てる力を感じて幸せな気持ちになりました。」と挨拶しました。

